

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ <http://www.chemistry.or.jp/news/kejiban.html> をご参照下さい。

徳山科学技術振興財団 平成 29 年度国際交流助成の募集

徳山科学技術振興財団では平成 29 年度国際交流助成の募集をしています。助成対象：新材料分野およびこれに関連する技術分野の海外における国際会議（平成 29 年 6 月～平成 30 年 5 月開催）に参加する研究者（ただし、国内の大学等および公的研究機関に常勤する 45 歳未満の者）。なお、学（部）長または機関長の推薦が必要。助成金額：1 件 10～30 万円（開催地により異なる）、10 件程度。募集期間：平成 29 年 2 月 1 日（水）～3 月 31 日（金）正午必着。応募方法：下記 HP より申請書をダウンロードし、必要事項記載の上、下記連絡先へ送付（E-mail での受付は

しません）。連絡先：103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 2-7-8 いちご日本橋イーストビル 4 階（公財）徳山科学技術振興財団 電話(03) 3527-2555 FAX(03)3527-2558 E-mail: zaidan@tokuyama.co.jp 詳細は HP (<http://www.tokuyama.co.jp/zaidan/>) をご覧下さい。

東京理科大学光触媒研究推進拠点 平成 29 年度共同利用・共同研究 課題募集

「東京理科大学光触媒研究推進拠点」は、平成 27 年度に文部科学省より共同利用・共同研究拠点として認定され、学内外の研究者と協力し実施する共同研究を行っています。本拠点が保有する光触媒性能評価装置等と

これまで培ってきた学術的知的資産および光触媒利用の技術的ノウハウを学外に提供することにより大学、公的研究機関、産業界等との共同利用・共同研究を促進するため、光触媒科学の基礎および応用研究の推進を目的とした研究課題を国内外から広く公募します。研究課題は本拠点で実施する研究テーマの重要度および目標達成度を考慮し、特定研究課題、一般研究課題、機器利用課題を設定しています。詳細は HP (<http://www.pirc.tus.ac.jp/>) をご覧下さい。研究経費の申請上限額：特定研究課題 2,000,000 円、一般研究課題 1,000,000 円、機器利用課題 200,000 円。研究期間：採択決定日から平成 30 年 3 月 20 日までの期間。応募方法：本拠点 HP から共同研究申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記宛に E-mail または郵送にて提出して下さい。提出先：東京理科大学総合研究院光触媒研究推進拠点 共同利用・共同研究公募担当 角田勝則 電話(04)7124-1501 (内線 4550) E-mail: tsunoda_katsunori@admin.tus.ac.jp 申込期限：平成 29 年 3 月 6 日（月）

2017 年度第 12 回 ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞 募集開始のご案内

日本ロレアル株式会社は、日本ユネ

スコ国内委員会との協力のもと 2017 年 2 月 28 日（火）まで 2017 年度「ロレアル-ユネスコ女性科学者日本奨励賞」の募集を行っています。募集要項、応募申請書は「ロレアル-ユネスコ女性科学者日本奨励賞」の募集概要 HP (<http://news.nihon-loreal.jp/cst/fwis/>) からダウンロードできます。受賞者は、2017 年半ばに東京開催の授賞式にて発表します。日本奨励賞は、将来を担う日本の若手女性科学者が、国内の教育・研究機関において今後も研究活動を継続できるよう、奨励することを目的としております。生命科学、物質科学の分野で、博士後期課程に在籍あるいは、博士後期課程に進学予定の若手女性科学者を対象に各分野からそれぞれ原則 1 年 2 件（2 名）、計 4 件（4 名）を選考し、賞状および奨学金 100 万円を贈呈します。また、ロレアルグループ本社（パリ）とユネスコ（パリ）が主催する「ロレアル-ユネスコ女性科学賞-国際新人賞」の 2018 年度の候補者として 2017 年度日本奨励賞の受賞者から 1 名を選考委員会が選出します。各国から選出されたトップ 15 名の若手女性科学者に賞金約 200 万円が贈呈されます。

“掲示板”欄への掲載申込について

①掲載対象

- ① “掲示板”欄への掲載申込みは、原則として本会会員に限ります。
- ② 掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③ 掲載は1回に限ります。
- ④ 講演会などの行事の開催案内は掲載できませんので、それらは本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご投稿下さい。

②字数制限と掲載例

- ① 原稿は600字以内で作成して下さい（英文は和文の0.55字で換算）。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ② 掲載例として本会ホームページに最新号のPDF版を公開しております。
<http://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industry> より「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

③原稿締切日と掲載月

- ① 原稿締切日は、毎月25日です。前月26日から当月25日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ② 掲載月以降に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

④原稿作成と投稿方法

- ① 原稿はURL：[\(http://mailform.cs.jp/keijiban/\)](http://mailform.cs.jp/keijiban/) の専用投稿フォーマットを使用して下さい。
- ② 専用フォーマット使用方法
 - A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
 - B) 機種に依存する文字の注意；機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

- ・半角カナ；ｱｶﾝｼﾞ, 記号（約物）；.。〔（/ 等
- ・ローマ数字；ⅠⅡⅢⅣ, 丸数字；①②③④

【使用可能な文字例】

- ・全角カナ, 全角記号, アルファベットのⅠ, V, X, Vを組み合わせてローマ数字を表現。
- ・文字の代わりに（1）（2）の表記を使用。

・組文字は全角（株）（有）mmでの表記にする。

- C) テキスト上で表現できない文字（外字、作字）については使用を避けて下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で印し、受理メール（受付番号付）に●印の指示を行いに送って下さい。その際、投稿フォーマットの“連絡事項”に必ずその旨を表記して下さい。
- D) 文書中で書式指定（上付き、下付き、イタリック体）を希望の場合は、タグ付け（HTML形式）をして下さい。

【見本】・上付： $P^{2+} \rightarrow P ^{2 +}$
 ・下付： $CO_2 \rightarrow CO ₂$
 ・イタリック；*italic* $\rightarrow <I> italic </I>$

- ③ 原稿の作成が完了しましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックすると別ウィンドが開きます。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はありませんので間違えないように作成して下さい。
- ④ 電子投稿が完了しましたら、自動的に受理通知メールを発信人宛に返信します。受理メールにて、受付番号、掲載予定号並びに投稿原稿内容が確認できます。受理通知が届かない場合は、正常に原稿が受理されていない場合がありますので、必ず受理通知をご確認下さい。
- ⑤ 投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑤送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ① 当月25日まで；URLフォーマットの“連絡事項”欄に先に受け取った原稿受理通知番号、先の送信日付及び原稿差替えの旨を表記し再度送信して下さい。その際、E-mailにて三美印刷宛その旨をご通知下さい。
- ② 26日以降は原則として訂正はできません。

⑥問合せ先

【投稿に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局 電話(03)3292-6165

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部
 電話(03)5843-3580 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp